HTMLとは

# なぜにHTMLを学ぶのか？

ズバリ、Webサイトを作成には必須のものになります。

これを理解しないとサイト作成ができません。

# HTMLってなに？

HTMLとは(HyperTextMarkupLanguage)ハイパーテキスト・マークアップ・ランゲージと呼ばれるます。

Webページを作るための最も基本的な言語です。

webページを裏側を見てよう。

どのページでもいいけど、ページのソースを見てみる！(ブラウザによって表示方法が違うので)

並んでいる文字がソースコードといいます。

このように、WebページはHTMLタグを使って構成されています。

これを読み込みブラウザで表示しているだけです。

# htmlファイルを作る方法は？

htmlファイルの作り方ですが、テキストエディタなどでhtmlタグを書き「.html」という拡張子をつけることで、htmlファイルであることをコンピュータが認識してくれます。(例 index.html)

## リンクを表示する

リンクを作成したい場合は、他のページに飛ばす場合に、リンクタグ<a>タグを使います。

<a href=”http://google.com”>googleへのリンク</a>

## 画像を表示する

画像を表示させるためには、<img>タグを使用します。

<img src=”画像パス” />

## 段落分けを行う

段落を分けるには<p>タグを使用します。

<p>段落の内容</p>

## HTMLの基本の構造

<!doctype html>

<html>

<head>

<meta charset="UTF-8">

<title>タイトル</title>

</head>

<body>

<h1>見出し1</h1>

<p>段落１</p>

</body>

</html>

## HTMLの基本の記述方法

実際にWebページに反映されるのは< body >の中なので、< body > ~ </body >の間に記述します。

タグ HTMLでは基本的にこのタグ<>で文字列を囲んで記述します。

開始タグ<>と終了タグ</>で囲う、そのひとつのかたまりを要素と呼びます。

※タグには全角文字を使うことはできませんので注意します。

## 基本タグ

<head>・・・文書のヘッダ情報を表す

<title>・・・文書にタイトルをつける

<base>・・・相対パスの基準URIを指定する

<link>・・・リンクする外部リソースを指定する

<meta>・・・その文書に関する情報（メタデータ）を指定する

<style>・・・スタイルシートを記述する

<script>・・・文書にJavaScriptなどのスクリプトを組み込む

<noscript>・・・スクリプトが動作しない環境用の表示内容を指定する

<body>・・・文書の本体を表す

<section>・・・1つのセクションであることを示す

<nav>・・・ナビゲーションであることを示す

<article>・・・記事であることを示す

<aside>・・・余談・補足情報のセクションであることを示す

<h1>～<h6>・・・見出しを付ける

<header>・・・ヘッダであることを示す

<footer>・・・フッタであることを示す

<address>・・・連絡先・問い合わせ先を表す

<p>・・・ひとつの段落(パラグラフ)であることを表す

<hr>・・・テーマや話題の区切りを表す

<pre>・・・半角スペースや改行をそのまま表示する

<blockquote>・・・引用・転載セクションであることを表す

<ol>・・・順序のあるリストを表示する

<ul>・・・順序のないリストを表示する

<li>・・・リストの項目を記述する

<dl>・・・定義・説明リストを表す

<dt>・・・定義・説明される言葉を表す

<dd>・・・定義用語や言葉の説明をする

<figure>・・・図表であることを示す

<figcaption>・・・図表のキャプションを示す

<div>・・・ひとかたまりの範囲として定義する

<main>・・・メインコンテンツであることを示す

<a>・・・ハイパーリンクを指定する

<em>・・・強勢する（アクセントを付ける）箇所を表す

<strong>・・・強い重要性を表す

<small>・・・免責・警告・著作権などの注釈や細目を表す

<s>・・・すでに正確ではなくなった内容を表す

<cite>・・・作品のタイトルを表す

<q>・・・引用句・引用文であることを表す

<dfn>・・・用語が使用されていることを示す

<abbr>・・・略語や頭字語であることを表す

<time>・・・日付や時刻を正確に示す

<code>・・・プログラムなどのコードであることを示す

<var>・・・変数であることを示す

<samp>・・・プログラムによる出力結果のサンプルであることを示す

<kbd>・・・ユーザーが入力する内容であることを示す

<sub>・・・下付き文字を表す

<sup>・・・上付き文字を表す

<i>・・・声や心の中で思ったことなど、他と区別したいテキストを表す

<b>・・・文書内のキーワードや製品名など、他と区別したいテキストを表す

<mark>・・・文書内の該当テキストを目立たせる

<ruby>・・・ルビをふる

<rt>・・・ルビのテキストを指定する

<rp>・・・ルビを囲む記号を指定する

<bdo>・・・文字表記の方向を指定する

<span>・・・ひとつの範囲として定義する

<br>・・・改行する

<wbr>・・・改行しても良い位置を示す

<ins>・・・追加された部分であることを示す

<del>・・・削除された部分であることを示す

<img>・・・画像を表示する

<iframe>・・・インラインフレームを作る

<embed>・・・プラグインデータを埋め込む

<object>・・・文書に外部リソースを埋め込む

<param>・・・プラグインのパラメータを指定する

<video>・・・動画を再生する

<audio>・・・音声を再生する

<source>・・・動画や音声などのURLや種類を指定する

<canvas>・・・図形を描く

<map>・・・イメージマップを作成する

<area>・・・イメージマップのハイパーリンク領域を設定する

<table>・・・テーブル（表）を作成する

<caption>・・・テーブル（表）にキャプションをつける

<colgroup>・・・表の縦列をグループ化する

<col>・・・表の縦列の属性やスタイルを指定する

<tbody>・・・テーブル（表）のボディ部分を定義する

<thead>・・・テーブル（表）のヘッダ部分を定義する

<tfoot>・・・テーブル（表）のフッタ部分を定義する

<tr>・・・テーブル（表）の横一行を定義する

<td>・・・テーブル（表）のデータセルを作成する

<th>・・・テーブル（表）の見出しセルを作成する

<form> …… 入力・送信フォームを作る

<fieldset> …… フォームの入力項目をグループ化する

<legend> …… フォームの入力項目グループにキャプションを付ける

<label> …… フォーム部品と項目名（ラベル）を関連付ける

<input> …… フォームを構成する様々な入力部品を作成する

<button> …… ボタンを作成する

<select> …… セレクトボックスを作成する

<datalist> …… 入力候補となるデータリストを定義する

<optgroup> …… 選択肢をグループ化する

<option> …… セレクトボックスや入力候補リストの選択肢を指定する

<textarea> …… 複数行のテキスト入力欄を作成する

<keygen> …… フォーム送信時にキーを発行する

<output> …… 計算結果を示す

<progress> …… タスク完了までの進行状況を示す

<meter> …… 規定範囲内の測定値を表する

<details> …… 備考や操作手段などの詳細情報を示す

<summary> …… <details>の内容の要約を示す

<command> …… 操作メニューの各コマンドを指定する

<menu> …… 操作メニューを作成する

## <head>タグ

<head>タグは、文書のヘッダ情報を表す際に使用します。

ヘッダ情報とは、その文書に関する情報のことです。

head要素を正確に定義するなら、「そのHTML文書に関するメタデータを集めたもの」ということになります。

サンプル・・・003.html

## <title>タグ

<title>タグは、文書にタイトルをつける際に使用します。

<title>タグで文書のタイトルを指定する場合には、一つの文書に一つだけ、<head>～</head>の中に配置します。

一つの文書内で複数の<title>を指定することはできません。

サンプル・・・004.html